

09月15日(取次搬入)発売予定!

ブリュノ・ラトゥール 著

## 近代の〈物神事実〉崇拝について

—ならびに「聖像衝突」

「事実」とは何か? 「物神」(フェティッシュ)とは何か? そして、なぜ聖像／偶像は破壊されるのか? こうした認識の根本的なテーマをめぐって、本書の著者ブリュノ(ブルーノ)・ラトゥールは、「事実」と「物神」を区別する西洋近代の存在論をフェティシズムにまつわる概念を用いて、批判的に検討する。

そして、白人宣教師と黒人物神崇拝者の植民地状況下における歴史的な出会いや9.11の貿易センタービルの崩壊といった現代的な出来事を通じて、いかに近代人が「物神」とその「破壊」に囚われていたかを明らかにして、「憎悪と狂信の考古学」を描出する。

ラトゥールの著作はすでに日本では紹介されているが、本書は難解とされるラトゥールの方法論が簡潔に展開されており、科学論や文化人類学という多面的な読者へのまとまった案内書でもある。

## 【著者】

ブリュノ・ラトゥール(Bruno Latour)

1947年生まれ。哲学者・人類学者。パリ政治学院(Sciences Po.)教授。

## 主な著書

『科学が作られているとき—人類学的考察』(川崎勝・高田紀代志訳、産業図書、1999年)

『科学論の实在—パンドラの希望』(川崎勝・平川秀幸訳、産業図書、2007年)

『虚構の「近代」—科学人類学は警告する』(川村久美子訳、新評論、2008年)

『法が作られているとき—近代行政裁判の人類学的考察』(堀口真司訳、水声社、2017年)などがある。

## 【訳者】

荒金直人(あらかね なおと)

1969年生まれ。慶應義塾大学理工学部准教授。2003年、ニース・ソフィア・アンティポリス大学(フランス)文学・芸術・人文科学部哲学専攻博士課程修了、博士号(哲学)取得。

## 著書

『写真の存在論—ロラン・バルト『明るい部屋』の思想』(慶應義塾大学出版局)

## 訳書

ジャック・デリダ『フッサール哲学における発生の問題』(共訳、みすず書房)

ジャック・デリダ『獣と主権者Ⅱ』(共訳、白水社)などがある。

四六判 上製カバー装 248頁 本体価格:2,600円 (定価:2,808円)

希望陳列コーナー:現代思想・文化人類学・科学論

以文社 ISBN 978-4-7531-0342-3 C0010 本体価格:2,600円 (定価:2,808円)

帳合・番線	ご希望冊数	書名
		<p style="text-align: center;"><b>近代の〈物神事実〉崇拝について</b></p> <p style="text-align: center;">—ならびに「聖像衝突」</p> <p style="text-align: center;">ブリュノ・ラトゥール 著 荒金直人 訳</p>

※指定配本の都合上09月07日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。

101-0051 千代田区神田神保町2-12 FAX:03-6272-6538 TEL:03-6272-6536 <http://www.ibunsha.co.jp/>